

手持ち金0円でマイホームが持てます えー！一生借家？

住宅ローンを組んで家を買くと賃貸物件に住み続けるのとでは、最終的にどちらが得なのでしょうか？トータルの損得勘定はともかく、賃貸暮らしの場合は、定年を迎えて収入が大幅にダウンしてから家賃を負担し続けなければなりません。そこで、マイホームを購入した場合と賃貸物件に住み続けた場合をシミュレーションしてみました。

賃貸の場合

月々5万円の
家賃の
支払い



30年後支払金額は
1800万円。
家賃支払いは
続きます。



シニア時代
年金での家賃支払いは
大きな負担



マイホーム

月々5万円の
住宅ローンの
支払い



30年後
ローンと金利を払った金額
約1800万円
住宅ローン支払い終了



返済後0円
持家
悠々自適の人生

問題は、年金収入だけになった時にこれだけの負担に耐えることができるかどうかです。家を買ってローンを組んだ場合なら、ローンの組み方を工夫することにより、子供の教育費負担がピークに達する頃に返済額を抑えたり、年金生活になる前に返済を終えるといった工夫をすることが可能です。ところが、賃貸物件の場合は家賃が老後までコンスタントにかかってくる、高齢者になると新しく賃貸を契約する事が難しくなるといった不安があります。

土地、建物をボーナス加算なし、
月々5万円未満で買える
ワダハウジングの家を買って老後も
悠々自適な人生を過ごしてください。

